

平成19年 ローソクボツケ分布量調査結果速報

北海道立稚内水産試験場資源管理部 電話：0162-32-7166

- ・稚内水試では試験調査船北洋丸により、毎年9月と10月に（昨年11月も）稚内ノース場の3つの漁区で着底トロール調査を行い（図1）、ローソクボツケ（0歳魚）の分布量調査を行っています。着底トロールの曳網は原則として各漁区で2回、合計6回行います。この調査の目的は、新しく資源として加わる0歳魚の分布量を早いうちに評価し、資源の将来予測に役立てることであります。
- ・調査は2003年から始められました。図2に2003年から2007年までに稚内ノース場で採集されたホツケの体長を示しました。今年（2007年）は体長約23cmを境に大小2つの群れが確認されました。小さい群れがローソクボツケで、昨年（2006年）と異なり、9月および10月ともにローソクボツケが稚内ノース場に着底したことがわかります。今年のローソクボツケの分布量は、9月には2004年に次いで少ない値でしたが、10月には増加して2003年および2005年とほぼ同じ量となっています（表1）。
- ・水産試験場では今後も各漁場におけるホツケ漁の状況を注視していきます。

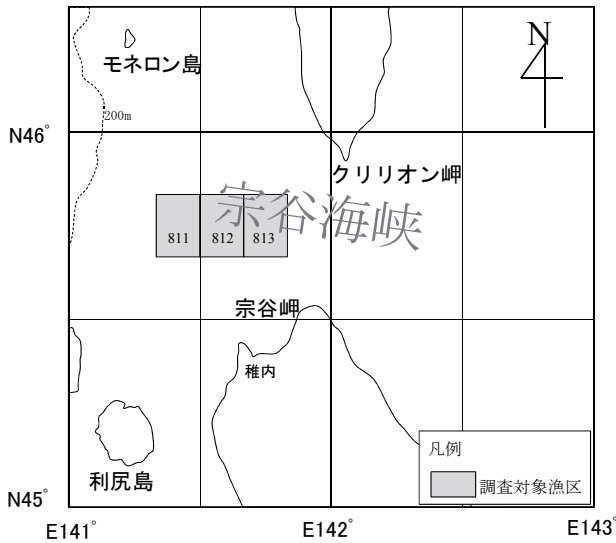


図1. 調査海域

表1. 着底トロール30分曳き当たりの0歳魚の平均漁獲量 (kg/30分)

調査年	9月	10月
2003年	138.7	222.0
2004年	19.8	42.0
2005年	183.7	265.4
2006年	0	0.3
2007年	40.4	234.3

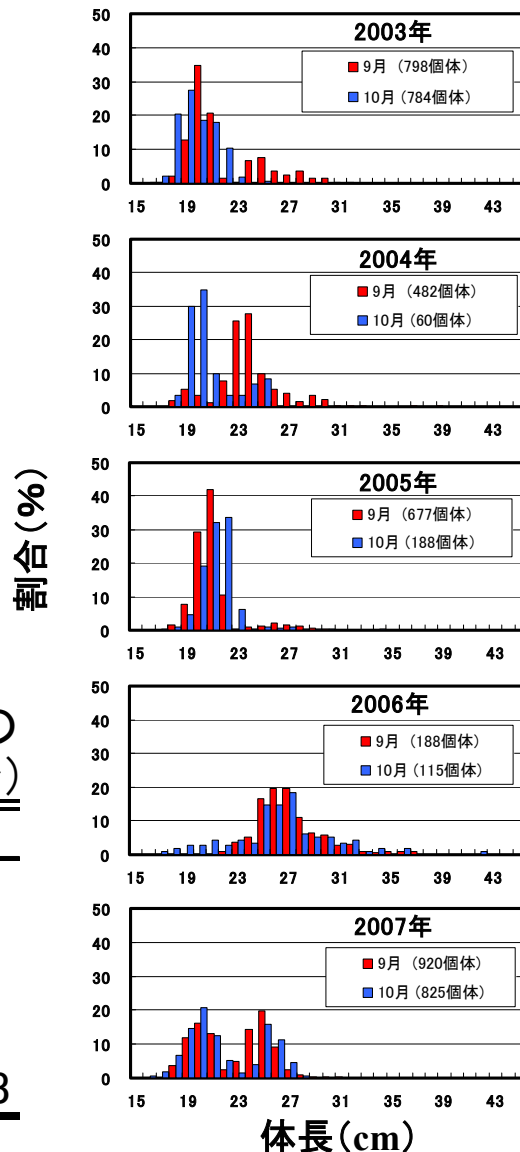


図2. 採集されたホツケの体長